

# オーラルイントロダクションの理論と実践

弘前大学教育学部  
講師 佐藤 剛  
satotsuyo@hirosaki-u.ac.jp

## 0 課題の進め方

---

- (1) 導入する教科書教材・絵本を決める
- (2) その概要を英語で説明する教師の英語と予想される児童の反応のスク립トを書く（ALT を登場させてもOK！）
- (3) このワードのファイルをメールに添付して以下のアドレスに送信する  
[satotsuyo@hirosaki-u.ac.jp](mailto:satotsuyo@hirosaki-u.ac.jp)
- (4) おわりです！お疲れ様でした。

質問があれば↑のメールに  
いつでもご相談ください！



## 1 ポイント

---

- (1) 音声で英語をインプットする活動になっているか？
- (2) 短く、パートに分けて繰り返し聞かせる工夫がなされているか？
- (3) 教師が一方的に話すのではなく、児童とインタラクションをとりながら進められているか？
- (4) 子どもたちが英語を話せなくても参加できるような工夫やテクニックが使われているか？
- (5) 教科書の内容一辺倒ではなく、授業者の個性やクラスの実態に即した活動になっているか？



## 2 スクリプトを書いてみましょう！

---

先生：Hello, class!

児童：Hello, (あなたの名前)！

—以下自由に記入してください！—

